

市場の需要を先取りし 新たな加工体制を確立



プラスエンジニアリング株式会社

代表取締役社長 / 鈴木 重人

所在地 / 本社営業所: 東京都豊島区池袋2-47-3
仙台事業所: 宮城県柴田郡村田町大字
村田字西ヶ丘21

T E L / 03-3985-3221 (本社) 0224-83-5620 (仙台)

事業
テーマ

【平成29年度補正】

チタン合金、ニッケル合金に代表される
高機能金属材料の高精度加工技術の開発と
生産性向上



複合加工機をメーカーと共同開発した



プラスエンジニアリング株式会社
取締役事務所長 浅野 謙一郎 氏

信条 多品種少量の「特注品」で量産品以上の品質に



0.001mmの超精密加工で品質を守る

➡ 会社の強みは何ですか？



100人規模のオーダーメイド、多品種
少量の完全受注生産の会社はな
かなかありません。それだけたくさんの
技術の引き出しと提案力があるということです。

➡ 今回の設備導入で苦労したことは



新しくチタン合金・ニッケル合金を作
るうえで、工具なども含めこれまでう
ちで取り揃えた設備で変えなければ
ならないところなど、メーカーとの細かい仕様の
やりとりに苦労しました。



厳密な製品チェックも欠かせない

チタン合金・ニッケル合金の
精密加工分野に参入

日本のものづくりを支える精密
機械加工部品を造っている。最終
製品ではなく製品を量産する生産
設備に使われる「装置部品」や「金
型部品」が全体の9割を占めてお
り、年間注文を受ける1万8千件は
全てお客様ごとの要望に合わせた
特注品だ。チタン合金やニッケル
合金の精密加工分野への需要を
先取りしてキャッチアップしたいと
考え本事業に取り組んだ。旋盤加
工とフライス加工の両方の加工が
1台でできる複合加工機を、当社
の知見を基にした特殊仕様を盛り
込み導入し、チタン合金・ニッケル
合金の高精度複合加工を可能と
した。

極めて困難とされる高精度
多品種小ロットでの加工に応える

課題としては①複合加工機の生
産性改善の障害となる加工プログ
ラム作成時間、段取り時間、②チタ
ン合金、ニッケル合金加工時の「構
成刃先」問題を解消するための最
適なクーラント圧力と切削工具の
選定、③高精度複雑形状加工条件
の確立があったが、それらをクリア



100人規模で完全受注生産の会社は少ない

し加工が可能になった。

市場ではこれらの合金の高精度
複雑形状、多品種小ロット加工
は極めて困難と考えられており、
採用を断念しているお客様也多
い。今後の事業化に向けて営業・
広報活動、既存・新規顧客開拓に
力を入れ、今後需要が高まると予
想される試作品市場へ参入してい
く予定だ。

お客様が本当に求めるものを
営業力と技術力で形に

「顧客からの要求の表面的な部
分だけではなく、なぜそういった要
求が発生したのか、その因果関係



国家技能検定に積極的に挑戦している



お客様の本当の需要に応える(藤谷部長)

まで深掘りして、お客様の本当の需
要を捉え、満足していただけるもの
を納品する営業を大事にしていま
す」と営業技術部の藤谷部長は語
る。今回の事業は当社の技術力、提
案力をまた一段階レベルアップさ
せるものになります。東京の営業部
と連携し、Webサイトや東京ビッグ
サイトでの展示会、メールマガジン
などを通して、日本中の顧客に当社
の進化した魅力を提案していく。こ
れまで培った0.001mmの超高精度
加工技術を持つ技能士集団が、顧
客の技術開発を支えていく。



需要を先取りして生産設備を導入した